

科植物図説 III
(生活体の特徴を基礎とした)

藤 本 義 昭

ギョウギシバ *Cynodon Dactylon* Persoon Fig. 23

匍匐性多年生草本で地下茎はなく、匍匐茎のみを有す。匍匐茎の節部より斜上せる茎を叢生し、下部に根を生ず。草高15~25 cm に及ぶ。葉基なく、色帯は明瞭、背部にて狭し。葉基部に長軟毛を疎生。小舌は0.5 mm、下部は厚膜質、上部は絨毛状となる。葉身は巾2 mm、長さ3~4 cm、被針形、先端部軽くねじれる。脈は顕著にして表面稍々粗波、無毛、革質。葉鞘は開き、断面円型、脈は顕著にして無毛、緑辺部硝子状、半透明、膜質となりこの部分脈なし。(Hab. 兵庫県姫路市白浜)

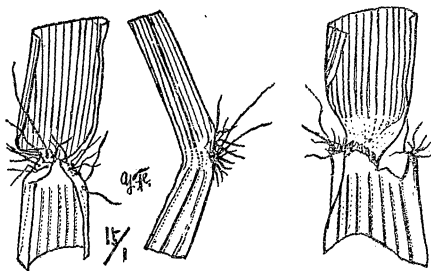


Fig. 23.

オオギョウギシバ *Cynodon Dactylon* Persoon var. *nipponica* Ohwi Fig. 24

丈60 cm に及ぶ多年生匍匐草本、全体ギョウギシバ *C. Dactylon* Persoon に似るも大きく、また茎太し。葉は芽を抱き斜上、小舌部で巾6 mm、漸尖、長さ6 cm、脈は顕著にして表面粗波。色帯は明瞭、背部で狭し、黄褐色。葉基を欠く。小舌は0.2mm、革質、環状、前面に絨毛を生ず、その後方に0.8 mmの軟毛を生ず、葉鞘部上端にては長軟毛となる。葉鞘は開き無毛、葉基部に軟毛束あり、但し葉鞘の開いた外側のみ、内側になる線は膜質脈は顕著。(Hab. 三重県津)

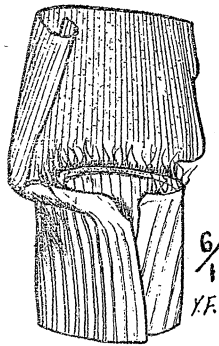


Fig. 24

シバ *Zoysia japonica* Steudel Fig. 25

8~15cmになる匍匐多年生草本、穂は2.5~3 cm。葉は5~6 cm、被針形、巾2~3 mm、脈は顕著に

して表面脈間に軟毛疎生、先端鋭尖、色帯明瞭、下部に軟毛輪状に生ず。葉基なし。舌は長軟毛となり、両緑部に於て時に長し。葉鞘は開き、緑辺厚膜質、往々鞘口部紫彩を帯ぶ。(Hab. 神戸市小野浜)

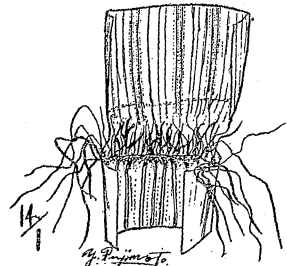


Fig. 25

オニシバ *Z. macrostachya* Tranchet et Savatier Fig. 26

海浜砂地に多い多年生匍匐草本、地下茎は砂中を横走り、節より生ずる枝は10~25cmに及ぶ。枝上2~3個の穂状花をつく。地下茎節より鬚根を生ず。葉は芽を抱き斜上長さ3~4.5 cm、巾2 mm、被針形、葉基及び色帯を欠く。小舌厚膜質両緑部に白軟長毛を密生、中央部にて疎生す0.2mm、上緑部絨毛を密生す。葉縁両側に鋸歯あり。葉鞘は開き茎は帯紫褐色、切断面は円型。(Hab. 兵庫県姫路市白浜)

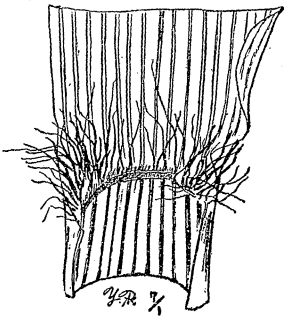


Fig. 26

スナシバ *Z. sinica* Hance var. *robusta* Honda Fig. 27

多年生草本、匍匐するも主として比較的密に叢生、直立す。高さ20~25 cm に及ぶ。茎は径1 mm。色帯は明瞭、背部にて凹み黄褐色無毛にして狭し。葉基なし。小舌は0.5 mmの軟毛となり密生、両緑部は長軟毛となる、1.2mm。葉鞘は開き脈顕著、緑辺部革質、下部の鞘の脈は紫彩を帯び無毛。葉身は巾2 mm、長さ5~8 cm、針型、斜上、脈は顕著、下部の脈は帯紫色、無毛。(Hab. 兵庫県赤穂市御崎)

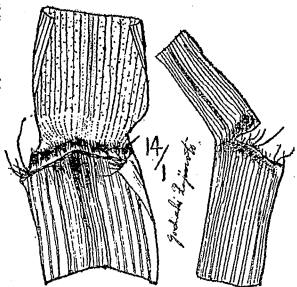


Fig. 27

(p.82へ)

(p.47から)

コウライシバ (チョウセンシバ、イトシバ)

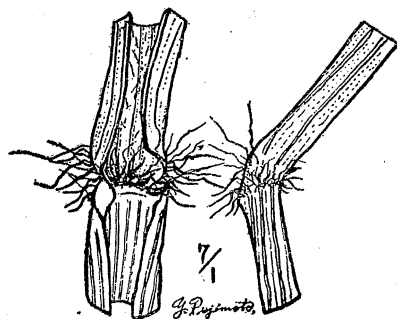


Fig. 28

Z. tenuifolia Trinius Fig. 28

匍匐して生ずる多年生草本。地下茎は径1mm、節より5cmばかりの地上茎を生じ、茎上小穂をつく、穂長1.5cm。地上茎、基部より葉叢生ず。葉は針状、長さ10~25mm、巾1mm、色帯顕著なるも甚だしく狭し。(葉身巾の半分)。葉基なく、葉基部より有毛、軟毛簇出、軟毛発生部はかんざし状となる。葉身、小舌ともに革質、小舌0.1mm、微細。葉鞘は開き葉身と共に縁辺細鋸歯を具う。(Hab. 神戸市小野浜)